

[課程一 2]

審査の結果の要旨

氏名 國江 慶子

本研究は、看護師長のコミュニケーション行動と看護師のメンタルヘルスとの関連を明らかにすることを目的とし、病院に勤務する看護師長及び看護師を対象に質問紙調査を実施している。

本研究では、看護師長のコミュニケーション行動として **direction-giving language**、**emotional language**、**meaning-making language** の 3 要素から構成された、上司から部下への言語的コミュニケーション行動である **motivating language** に着目している。また、看護師長のコミュニケーション行動は、看護師および看護師長自身の両者の認識を測定し、看護師のポジティブなメンタルヘルス指標であるワークエンゲイジメント及びネガティブなメンタルヘルス指標である心理的ストレス反応との関連を、マルチレベル分析により検討し、下記の結果を得ている。

1. 部署全体の看護師の認識による看護師長のコミュニケーション行動のうち **meaning-making language** は、看護師の高いワークエンゲイジメントとの間に有意な関連が認められた。
2. 部署全体の看護師の認識による看護師長のコミュニケーション行動と、看護師の心理的ストレス反応との間に有意な関連は認められなかった。
3. 看護師長自身が認識するコミュニケーション行動は、看護師のワークエンゲイジメントおよび心理的ストレス反応のいずれとも有意な関連は認められなかった。
4. 看護師個人が認識する看護師長のコミュニケーション行動は、看護師の高いワークエンゲイジメントと関連する可能性が示された。一方、看護師の心理的ストレス反応とは関連しない可能性が示された。

以上、本論文は、日本の病院において看護師長の部下へのコミュニケーション行動と看護師のワークエンゲイジメント及び心理的ストレス反応との関連を、部署を考慮し検討した初めての研究である。また、看護師長のコミュニケーション行動について看護師の認識及び看護師長の認識を用いて検討した点においても独創的である。本研究は、病院に勤務する看護師のメンタルヘルス向上に寄与する知見を示しており、学位の授与に値するものと考えられる。